

神奈川県市町村募集事務担当者会議を開催

神奈川地方協力本部（本部長 高田充一海佐）は、7月22日（火）、海上自衛隊第2術科学校において、「平成26年度神奈川県市町村募集担当者会議」を実施した。会議に先立ち、本部長から各市町村募集事務担当者に対し、日頃から神奈川地方協力本部に対するご支援・ご協力に感謝の意を表すとともに、重ねて適齢者情報の提供をお願いすると、神奈川県安全防災局総務室長から、自衛官募集に関しより一層募集協力をするとの心強いご挨拶をいただいた。

会議では、地本から平成25年度の募集成果の報告と募集事務委託費使用要領の説明をおこなうとともに、適齢者情報の効率的な提供要領等について検討をお願いした。

また、体験喫食及び護衛艦「ゆうぎり」艦艇見学を実施して、自衛隊に対する一層の理解を得ることができた。



夢を叶えたい気持ちが大きく膨らんだ総合的学習の時間 川崎市立大師中学校

神奈川地方協力本部川崎出張所（所長 荒木3陸佐）は7月23日（水）、海上自衛隊第2術科学校で行われた川崎市立大師中学校の「職場体験学習（総合的な学習の時間）」を支援した。

大師中学校が自衛隊で職場体験学習を行うのは今年度が初めてで、15名の生徒が参加した。

第2術科学校到着後、教育の概要説明の後、ベットメイキング、ガスタービンエンジン及びディーゼルエンジンの操縦体験が行われたが、特に、不慣れなベッドメイキングでは苦戦を強いられていた。何度か演練を重ねる内にコツをつかんだ生徒が他の生徒を手助けをする等、協調性も見られるようになった。

また、現職自衛官への質問の時間も設けられ「自衛官になろうと思ったのは何故か」「自衛官として誇れることは何か」「自衛官にはどのような人が向いているのか」等の質問が次々と投げかけられていた。

体験学習終了後、第2術科学校長から修了証書を授与され、多くの隊員から見送られ第2術科学校を後にした生徒達は「今回自衛隊の体験学習に参加できて本当に良かった。これからもっと勉強を頑張って絶対自衛官になりたい」と大きく膨らむ夢を語りながら満面の笑みを浮かべていた。

川崎出張所は、「今後も担当区内の学校に総合的な学習の時間への参加を働きかけ、自衛隊に関心を持つ生徒の支援を積極的に行っていく」としている。



ベットメイキング



ガスタービンエンジン操縦体験